

佐倉市よもぎの園 従来の管理運営の状況

1 従来の管理運営に要した人員

人数	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
常勤職員	6名 (うち管理者1名)	7名 (うち管理者1名)	6名 (うち管理者1名)									
非常勤職員	7名 (うち運転手1名)	7名 (うち運転手1名)	8名 (うち運転手2名)									
具体的な業務分担												
種別 (常勤・非常勤の別)	勤務形態	人数	従事内容									
理事長(本部勤務)	8:00~17:00	1	統括責任者									
管理者	8:00~17:00	1	佐倉市よもぎの園責任者									
サービス管理責任者	8:00~17:00	1	契約・個別支援計画作成等									
職業指導員	8:00~17:00	3	利用者への作業支援等									
目標工賃達成指導員	8:00~17:00	1	工賃向上計画作成・実施等									
生活支援員	8:00~17:00	6	利用者への生活支援等									
事務員(本部勤務)	9:30~15:30	1	現金出納・実績関係等事務									
運転手	8:00~9:30 15:30~17:00	2	利用者送迎									
業務従事者に求められる知識・経験等												
<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性を理解した支援ができる人材 ・就労支援に対する理解がある人材 ・生命の安全と救急救命の基礎知識を持ち、非常時には迅速な対応ができる人材 												
業務の繁閑の状況とその対応												
<p>就労継続支援 B 型事業所として請負作業を中心に取り組んでいる。コロナ禍では大口業者との取引が休止となり大幅な減収が予想されたため、取引業者の開拓の他、自主生産活動(手作り布マスク、玄米カイロ)を開始し、収入維持、増収に努めている。</p>												
人員配置状況												
業務/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
非常勤 (運転手2名含む)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

2 施設及び設備の状況

設備一覧（設備の設置年度、改修歴、メンテナンスの予定時期等）	
→別紙 4 「設備・備品一覧」参照	
今後の改修工事の計画（場所・内容）	（改修時期）
なし	
修繕予定のある箇所	
館内照明器具	未定
その他施設の不具合箇所	
	（備考）
1 階、2 階廊下エアコン故障	
静養室エアコン故障	
屋外階段床面陥没	
敷設土の沈下による段差、不陸、外フェンス傾き	
玄関前段差 ※インターロッキング陥没	
調理室ガスコンロ老朽化	
雨樋破損	
会議室、地域交流室の床材（カーペット）劣化	

3 従来の管理運営における目標達成の程度

利用実績		
→資料 2 「利用実績（令和元年度～令和 3 年度）」参照		
運営における目標と実績		
年度	目標	実績
1	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営に努める 稼働率 90% 平均工賃 18,000 円 地元自治会行事への積極的参加と施設の開放 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営をおこなった。 年度末から新型コロナの影響で出勤を見合わせる利用者が出始め稼働率 79.1%となる。 受注作業はコロナの影響を受けるも平均工賃 20,475 円となった。 地域交流では防災訓練やお祭りへの協力、参加をしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営に努める 稼働率 90% 平均工賃 18,000 円 地元自治会行事への積極的参加と施設の開放 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営をおこなった。 年度当初から緊急事態宣言が発令され、入所施設利用者が出勤を見合わせた影響を大きく受け稼働率 69.1%となる。 受注作業は、大口業者の受注が減り大幅な減収となった。自主生産活動にも取り組むものの収入減は止められず、平均工賃 13,853 円という結果と

		<p>なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の行事等は中止であったが、ラジオ体操への参加や自主生産品の販売を通じて地域交流を行った。
3	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営に努める 稼働率 83% 平均工賃 15,000 円 地区社協、町内会の方々と交流を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営をおこなった 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが利用者増もあり稼働率 74.9%と復調の兆しが見られた。 受注作業については新規契約業者、自主生産活動もあり平均工賃 13,088 円となり昨年度と同様の結果となる。 地域交流については、地区社協より自主生産品（手作りマスク）の発注を受け負った。（高齢者への配布用）
運営上の課題		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあるが目標稼働率に届いていない。新規利用者獲得と新型コロナの影響で出勤を見合わせている利用者への働きかけを継続して取り組む必要がある。 施設の老朽化からの不具合箇所が多く、円滑な事業の実施や施設運営へ支障が及ぶなどの影響が懸念される。 		
利用者からの要望事項等		
<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度調査では概ね満足しているとの結果が出ている。 コロナ禍においてもサービスの継続を行ったことや緊急事態宣言下はマイクロバスにて送迎を実施したことに対して利用者から感謝の言葉があった。 		

4 従来の管理運営方法等

事業概要			
就労継続支援 B 型事業 利用者の日常生活の安定を図り、生産活動へ向かう意欲を育てる。利用者 1 人ひとりが必要とされていることを実感できるような職場づくりを目指し、達成感や満足度を上げていけるよう取り組む。			
施設利用対象者			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という）第 19 条第 1 項の規定による市の訓練等給付費を支給する旨の決定を受けた障害者 ・ 市が特に認めた者 			
年間事業・行事等			
時期	内容	時期	内容
4 月	歓迎会（春陽会）	12 月	忘年会
5 月	日帰り旅行	1 月	新年会
5 月	利用者による自治会行事	3 月	会食会
9 月	防災訓練	3 月	防災訓練
11 月	総合防災訓練		
開所（館）日・開所（館）時間			
開所日：月～金 8：00～17：00 閉所日：日、土、祝日、年末年始 ※土曜日については、指定管理者は一定の範囲内で開所をすることができる。			
契約一覧（内容）		契約期間	契約金額
エレベーター保守		1 年間	726,000 円
自動扉開閉装置保守		1 年間	181,500 円
警備委託		1 年間	118,800 円
清掃業務委託		1 年間	761,508 円
受水槽清掃・点検		1 年間	96,800 円
消防設備点検		1 年間	95,700 円
冷暖房点検		1 年間	148,500 円
嘱託医		1 年間	34,000 円／診療 1 回
一般廃棄物処理契約		1 年間	41 円／kg

運営体制（指揮命令系統の図等）
<pre> graph TD A[本部] <--> B[佐倉市よもぎの園] B <--> C[サービス管理責任者] C <--> D[職業指導員] </pre>
事業の目的を達成する観点から重視している事項
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 1 人ひとりの個性と人格を尊重する。 ・利用者の自主性を尊重し、主体的な作業を促す。 ・利用者家族と関係機関との連携を図り、地域に根差した施設を目指す。
運営上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生管理の維持向上を図り、疾病の予防及び早期発見に努める ・職員の防災意識の向上に努め、施設内外の安全を確保する ・利用者が施設を利用する中で文化的で豊かな生活を送れるよう心掛ける

5 従来の管理運営に要した経費

従来の管理運営に要した経費
→資料 3 「収支決算書（令和元年度～令和 3 年度）」参照

6 政策的な位置づけ等に関する事項

設置目的
一般の職場で働くことが困難な障害者に対して作業指導及び訓練を行うことにより、障害者の社会的自立を助長し、もって福祉の増進を図る。
設置目的の背景となった行政課題
障害者が地域において自立した生活を送るため、就労による安定した収入の確保や居場所づくり等に寄与する社会資源の整備や支援の検討が課題となっていた。
施設のミッション、目標とする状態
障害者に対して作業指導及び訓練を行い、障害者の就労に寄与する。
関連計画、関係法令等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐倉市総合計画、佐倉市地域福祉計画 ・ 佐倉市障害者計画、佐倉市障害福祉計画 ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
設置当初と現在との社会状況の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内における就労継続支援 A 型、B 型事業所の増加 ・ コロナ禍により契約事業所からの受注作業減少
管理運営に関する諮問機関等
なし